

IV. 平成28年度 ベルライブ 事業計画

中期事業計画

10ヵ年基本方針

多様化するニーズに応え、地域に必要とされる介護福祉施設をめざす。

中期ビジョン

地域のパートナーに、多職種協働で尊厳ある自立した生活支援を実践する。
また、地域の福祉ニーズを把握し、地域包括ケアシステムの実現に向け、積極的に地域社会に貢献する。

中期戦略

中・重度要介護者、認知症高齢者に注力し、多職種協働でパートナーの自立支援およびQOL（生活の質）の維持向上をめざす。

また、医療機関・ご家族・地域住民および施設内の連携を強化し、継続的な社会活動に参加できるよう支援する。

平成28年度 事業計画

1. 平成28年度基本戦略

中・重度要介護者、認知症高齢者に、ユニットケアの特性を活かした個別ケアを強化するとともに、看取りケア、口腔ケア等の充実をはかり、パートナーの自立支援（できないことができるようにする支援）の実践およびQOL（生活の質）の維持向上を実現する。

さらに地域住民がお互いに助け合い、元気になれる「つどいの場」づくりと新たな生活支援サービスを創造する。

*上記に記載する地域とは：「堺市堺区（ベルタウン）周辺エリア」を対象としております。

2. 重点活動事項

(1) 利用者獲得

【入居について】

- ア) 入居者の平均介護度は4以上とする。
- イ) 退居後の空床期間は7日以内に短縮する。
- ウ) 入院率の低下および早期退院に対応する。
- エ) 適切な各種加算の取得および件数増加に努める。

【短期入所について】

- ア) ベルアルトと連携し、パートナー集客プロジェクト(仮称)を立ち上げ、積極的な取り組みおよび効率的な空床管理を行う。
- イ) 新規利用者の確保に向け、効果的なPR広報活動・施設見学を強化する。
- ウ) 中・重度要介護者、認知症高齢者も積極的に受け入れる。
- エ) 高齢者虐待一時対応(空床確保)事業に協力する。
- オ) 堺区周辺地域の新規入居待機者にベルタウン在宅サービスを推奨する。
- カ) 新規利用者を定期利用に繋げる取り組みを強化する。
 - ・「ゆき届いたサービス」の浸透
 - ・利用率の低い月末・月初にベルキンダーとの世代間交流・行事・余暇活動・認知症予防(そろばん教室など)の定着化
- キ) 適切な各種加算の取得および件数増加に努める。
 - ・個別機能訓練加算の施行曜日の拡大

(2) サービス

- ア) お一人おひとりの状態にあった認知症ケアを実践する。
 - ・そろばん教室の対象者の拡大
 - ・学習療法の担当者を決定し、環境整備・業務の定着化
 - ・認知症予防への取り組み
- イ) PDCAサイクルに基づいた看取りケア体制を充実する。
 - ・看取りケア指針の更新
 - ・看取りケアプランの見直し
 - ・看取り経過「看取り期の説明資料」の作成
- ウ) 重度化に対応した安全・安心・快適な環境を整備する。

- ・転倒・転落・感染・褥瘡など事故防止対策およびチーム活動の強化
- ・健康管理の徹底（早期発見・早期治療による入院回避）
- ・摂食・嚥下機能の向上
 - 歯科医師と多職種協働によるミールラウンドの継続
 - 個別口腔ケア手順によるケアの統一
 - 摂食・嚥下機能に関する専門知識の向上

エ) 日々の暮らしに楽しみがあるユニットケアを実践する。

- ・入居者のニーズに応える「暮らし」の実現
- ・入居者が「楽しく」「元気になる」余暇活動の実践
- ・24時間シートを活用した個別ケア

オ) 福祉サービス第三者評価を受審する。(11月)

(3) コスト

- ア) 各種事業の経営管理を徹底する。
- イ) 職員の常勤・非常勤比率を適正化する。
- ウ) 超過勤務時間の分析と業務改善をする。

(4) 組織人材

- ア) 各専門学校での施設見学受け入れおよび実習指導者の育成を強化する。
- イ) 看護・介護キャリアパスに基づいた人材育成をする。
- ウ) 認知症専門知識の向上のため施設内外研修を支援する。
DCM（認知症ケアマッピング）受講
- エ) 積極的な関連学会（大会）への発表を支援する。
- オ) 堺市介護人材確保育成事業に参加し、「はたけあ」アンケートの結果に基づいた職場環境の改善をはかる。
- カ) 介護負担軽減対策（介護ロボット等）を検討する。
- キ) 有休休暇取得率向上をめざす。（とれない風土からとれる風土へ）

(5) 地域貢献

- ア) 堺市認知症介護実践リーダー研修事務局を継続する。
- イ) 中間的就労（障害者・高齢者雇用）に協力をする。
堺シニアカレッジスクールなど堺市関係からの人材確保対策（施設見学や実習依頼）の積極的な受け入れ等

- ウ) 認知症キッズサポーター養成講座の継続：安井小学校
- エ) 「べるたうん ぬくもりカフェ」を継続し、地域住民の「つどいの場」とする。
- オ) いきいきサロンに多職種が協力し、介護予防の活動支援をする。
- カ) 美化活動・地域行事に積極的に参加し、地域との交流を密にする。

3. 重点活動目標値

ベルライブ (入居・短期)

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居	79.5	79.5	79.5	79.5	79.5	79.5	79.5	79.5	79.5	79.5	79.5	79.5
短期	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0
新規利用者	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6

*入居・短期は退所含む

4. 居宅サービスの具体的目標 (ベルライブデイサービスセンター)

(1) 利用者獲得

- ア) 中・重度要介護者、認知症高齢者を積極的に受け入れる。
- イ) 通所リハからの卒業者の受け入れ体制整備を継続する。
- ウ) 効果的な広報PR活動のため ipad を活用する。
- エ) 医療機関、居宅介護事業所、介護サービス事業所と連携を強化する。
- オ) ベルタウン内、各事業所との連携を強化する。
- カ) 個別機能訓練加算 I の取得が可能な人員配置をする。

(2) サービス

- ア) 個々のニーズに沿った生活リハビリを実施し、IADL の向上をはかる。
- イ) 認知症リーダー研修修了者を中心に「くるみ庵」のケアを見直す。
- ウ) 「楽しく」「元気になる」「ワクワクする」行事を企画する。
- エ) 多職種による健康講座 (栄養・感染など) を開催する。
- オ) 中・重度要介護者に栄養改善サービスを提供する。

- カ) 個々のニーズに応じた送迎時間を工夫する。
- キ) 地域支援事業への移行準備をする。

(3) コスト

- ア) 職員の常勤・非常勤比率を適正化する。
- イ) 超過勤務時間の分析および業務の改善を検討する。

(4) 組織人材

- ア) 認知症実践者・認知症リーダー研修への参加を支援する。
- イ) キャリアパスに沿った研修参加と自己の目標管理を支援する。
- ウ) 中・重度要介護者に対応できる介護技術を高める。
- エ) 中間的就労（障害者・高齢者）に協力をする。
- オ) 実習の受け入れに伴い、実習指導者を育成する。
- カ) トップダウンとボトムアップが融合する環境をつくる。

(単位：人)

活動目標値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
通所	37	38	38	38	37	38	38	39	38	36	36	37
新規利用者	7	8	8	7	7	8	8	9	7	6	6	7

5. 居宅サービスの具体的目標（ベルタウンヘルパーステーション）

(1) 利用者獲得

- ア) 新規利用者獲得目標は平均 3名とする。
- イ) 中・重度要介護者(身体介護)を積極的に受け入れる。
- ウ) パートナー集客プロジェクト(仮称)を立ち上げ、新規利用者の獲得および利用増加対策を行う。
- エ) 適切な各種加算の取得に努める。

(2) サービス

- ア) 多職種と連携し、個々の生活機能が向上する。
- イ) 在宅生活での意欲が高まる関わりをする。
- ウ) 地域支援事業の移行準備と自費サービスを検討する。

(3) コスト

- ア) 職員の常勤・非常勤・兼務者の比率を適正化する。
- イ) 業務改善によりムダ・ムラをなくす。

(4) 組織人材

- ア) サービス提供責任者に求められる能力および業務内容を明確にする。
- イ) 中・重度要介護者に対応できる介護技術を高める。
- ウ) サービス担当者会議に積極的に参加する。
- エ) キャリアパスに沿った研修参加と自己の目標管理を支援する。
- オ) トップダウンとボトムアップが融合する環境をつくる。

(単位：人／月、件／月)

活動目標値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
パートナー数	51	51	52	52	52	53	53	53	54	54	54	55
新規利用者	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4
訪問回数	280	280	290	290	300	300	300	310	310	310	320	320
身体介護	90	90	90	90	90	90	90	100	100	100	100	100
生活支援	190	190	200	200	210	210	210	210	210	210	220	220